



丁寧に収穫をする徳永町長と川口摩周湖農協組合長(左)と弟子屈小学校の児童たち

ワイン用ブドウを収穫

「葡萄色の週末(エビイロウイークエンド)」を開催



一房ずつ丁寧に収穫

10月15日には、ワイン醸造用のブドウの収穫が町内の協力農家などで一斉に行われました。

町では2009年からワイン用ブドウを栽培しており、現在は町内で約3240本の苗を栽培しています。今年には1200本を収穫。

17日には、徳永町長や川口摩周湖農協組合長ら関係者らと、弟子屈小学校3年生(中原英雄校長)の児童たち35人が一房ずつ丁寧に収穫しました。

本町産のブドウを使ったワイン「葡萄色の旦」を地場食材と味わう「葡萄色の週末(エビイロウイークエンド)」が9月27日から10月6日、町内14の飲食店と宿泊施設で行われました。

町ブドウ・ブドウ酒研究会(会長・徳永町長)が主催したもので、今年が4度目の開催。今年、cafe & bal COVO、food & bar DOMANI、炭家石花木金、いなか家源平、すずめ食堂&バル、旬の肴とうまい酒もつきり家、屈斜路湖畔の宿ワツカヌプリ、WAKKABBB、Living bar 221(旧つづい)、さらの宿すばる、屈斜路プリンスホテル、川湯観光ホテル、食事と喫茶popotei、お宿欣喜湯がそれぞれオリジナルの限定メニューを昨秋に収穫したブドウで醸造したワインと共に提供。多くの人にぎわいました。

自分でつくると一層おいしい!

町内各地の学校・児童クラブで食育調理実習を実施



見事なフライパンさばき(弟高)

26日には、美留和小学校(伊藤賢次校長)で児童とその保護者を対象に実施。ハンバーグ、じゃがいものグラタン、フルーツのサバイヨングラタンに挑戦しました。

児童や生徒たちは最初にシェフによる模範調理を見て調理方法を勉強。見事な包丁さばきや、料理がきれいに盛りだくさんな様子などに、どの会場でも歓声が上がっていました。



おいしく作るコツは? (奥小)

全員で楽しく試食(美小)

9月24、26日の3日間、町内の学校や児童クラブで町主催による食育調理実習が、ホテルポールスター札幌で総料理長を務める藤田伸幸シェフと、同ホテルの皆さんを講師に招いて行われました。



おいしいチキンライスを目指して(にここクラブ)

町の話



もしもに備えて

令和元年度 弟子屈町総合防災訓練



消防署へ避難した方たちを安全な場所へ誘導する職員

訓練に参加した町民の方は「災害はいっ起こるかわからない。日頃からしっかり備えたい」と話していました。



避難者に乗せた自衛隊車両が自走架橋を渡る



胸部圧迫人工呼吸法を訓練

長雨に続く大地震と土砂崩れが発生したという想定で、令和元年度弟子屈町総合防災訓練が10月18日、弟子屈消防署で行われました。今回の訓練は、北海道が実施する防災訓練に当町も参加し実施となったことから、自衛隊のヘリコプターなど大型の機械も導入され、実践さながらの訓練となりました。

町の話



無事故・防犯の心得を

各地で交通安全運動・防犯パトロールを実施



旗の波で交通安全を(川湯)



青色回転灯を装備したパトロールカーが出発(弟子屈警察署)

10月11日には、弟子屈警察署(林隆俊署長)で、青色防犯パトロール隊研修および出発式が行われました。令和元年全国地域安全運動に向け、青色回転灯装備車を保有する「青色防犯パトロール隊」を対象に行われたもの。参加者は防犯についての講習をしっかりと受けたあと、パトロール車へ乗り込み地域巡回に出動しました。

10月11日には、弟子屈警察署(林隆俊署長)で、青色防犯パトロール隊研修および出発式が行われました。令和元年全国地域安全運動に向け、青色回転灯装備車を保有する「青色防犯パトロール隊」を対象に行われたもの。参加者は防犯についての講習をしっかりと受けたあと、パトロール車へ乗り込み地域巡回に出動しました。



しおりと啓発品を手渡し児童(文化センター)

弟子屈町交通安全運動推進協議会(会長・徳永町長)主催の旗の波街頭啓発が9月30日、摩周観光文化センター前の国道243号線で行われました。秋の交通安全運動期間に合わせて毎年行われているもので、当日は町交通安全協会や女性ドライバークラブなどに加え、奥春別小学校(寺田裕子校長)からも児童が参加。総勢約110人で安全旗を振って交通安全を呼びかけたほか、同校児童が啓発品や手作りのしおりをドライバーに手渡しました。